

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス オリオン		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 12日		～ 2026年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	2026年 1月 12日		～ 2026年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	視覚支援 意思決定支援(形成・表明・実現)	全体スケジュールに加え、必要に応じて個別スケジュールを用意し、個々の特性に応じた療育が出来るように努めている。その他、視覚的にフロアメンバーや送迎車の乗車位置等、先の見通しをしっかりと立てることで、その時々での集中力の継続へ努めている。自己選択を大切に、一日の生活の中で、自ら選ぶという機会を多く持てるようにしている。トークンエコノミー法を実施し、やる気にも繋げている。	児童の中ではご家庭と連携してPECSを使用することが増えてきている。職員ひとりひとりが内容を理解しての支援や助言が出来るように専門性の向上へと努めている。正しい意思決定支援を提供するために、意思を表明し易い関係性等の土台作りから表明があった際にそれを確実に実現させてあげられる支援というものを試行錯誤しながら進めている。
2	空間の構造化	学習場所、遊ぶ場所、食べる場所等、活動における場所の棲み分けや、障害特性に応じた配慮がしっかりと出来るように力を入れている。〇〇は〇〇さんの場所だということが分かり易いように、視覚的要素を取り入れたり、効率よくその場所から絵カード表出が出来るような工夫もしている。	物品の置き場や片付ける場所等、分かり易くすることで、児童が自発的に使用または片づけが出来るように工夫を凝らしている。
3	家族支援	必要に応じて随時相談支援を行い、その他、視覚支援を保護者へ助言しながら一緒に作成することもある。その他、不定期ではあるが保護者向け勉強会も開催している。	保護者同士の繋がりの一助となるような座談会や、気軽に事業所へ足を運べるような環境づくりを目指していきたいと思っている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域等との交流	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会を設けることに需要等がなかったため、働きかけてくることはなかった。 平日、放課後等デイサービスは開所時間の関係等で地域との交流を計画していくことがなかった。	年1回でも事業所発信のイベントや、研修会等、地域との関わりを少しずつでも増やしていけることを計画していく必要があるかと考えています。 地域のイベント等には行ける時には参加するようにしている。
2	きょうだい支援等	保護者向けの勉強会は不定期であるが実施しており、相談においても随時実施しているが、きょうだいに対するアプローチが弱いと考えている。	きょうだい支援や、契約者以外でも発達における相談や助言が出来るような仕組みを考えていけたらと思っている。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス オリオン
------	-----------------

公表日 2026年 2月 20日

利用児童数 79名 (きょうだい含む)

回収数 32名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	31		1		狭い。	十分な部屋数があると思います。生活における場所のすみ分けも可能です。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	29			3		現状、基準プラスアルファの配置は出来ております。更なる人員確保に努め、手厚い支援へと繋げていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30	2				検討を重ねながら構造化をもっとより良いものへとしていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	32					なっている。継続して実施していく。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	32				いつも感謝しています。	専門性の獲得に努めている。特に視覚支援には力を入れている。常に自己研鑽を進めていく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31			1		合っていると思う。ご家庭等、日常生活の中で大切となる支援内容である。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32					十分な理解が出来るように努め、計画内容もしっかりと考えている。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31			1		個々の特性やフェーズに応じたものを設定している。また家族支援や移行支援も必要に応じて対応出来るように努めている。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31			1		出来ていると思う。今後も継続して実施していく。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	1		1		複数名で毎月考えている。今後も工夫をしながら発信していく。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	4	3	16		検討を重ねながら、少しずつ関係性を築いていきたいと思っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32					継続して実施していく。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32					継続して実施していく。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	32				研修会はとても勉強になっています。	今後も様々な計画を立てながら定期的 に実施していく。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	32				とても丁寧に 対応してくれています。	対面、電話、LINE等、ニーズにもお応えしながら継続して実施していく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	1		2		今後も必要に応じて積極的に実施していく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	32					様々な知識を入れ、専門的な助言等が出来るように努めていく。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	24	2	1	5	きょうだいは無い。保護者向けの勉強会をたくさんして頂いているなど と思います。	保護者勉強会の開催は実施しているが、きょうだい関係、交流会のようなものはほとんど出来ていない為、今後検討していく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30	1		1		相談体制の説明などを実施している。今後も継続して実施していく。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31			1		今後もご家庭様々なニーズに対応または配慮しながら実施していく。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	28	2		2		定期的な法人通信の発行、不定期ではあるが事業所通信の発行をしている。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	32					今後も十分に配慮しながら取り扱っていく。必要に応じてその都度、同意をいただく場合もある。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	1		5		常に最新のものにして、発信へと努めていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27	2		3		定期的な訓練を継続し実施していく。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	31	1				今後も安全面には十分に配慮していく。必要に応じて通信や文章等でも発信していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	31			1		今後も丁寧に対応していく。細かな事故マニュアルの作成にも努める。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	32					楽しく遊び、楽しく学べる環境を常に考えて提供していく。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	29	1		2	こどもの気分がコロコロ変わるので不明です。	活動等の予定を出し、見通しを持って通所してもらえるように工夫していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	31	1			様々な視点からのお話や支援、いつも感謝しています。表出支援を積極的に取り組んでくれます。	活動等においてもこどもたちの意思を大切にしながら進めていく。意思決定支援をしっかりと進めていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス オリオン				公表日	2026年 2月 20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	スペースを障害特性に応じて構造化する等し、場所のすみ分けをする等、力を入れている。	様々な障害特性に応じて、更なる構造化やリラックスできる環境整備を検討していく必要がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	基準プラスアルファで職員を配置出来るようにしている。また、こどもの状態に対応できるような動きもその都度検討している。	今後も、強度行動障害児等を受入れていく上で、更なる人員確保はしていきたいところ。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	遊ぶ場所、学ぶ場所、食べる場所等を分けて、分かり易くしている。	カームダウンエリアの設置など、まだまだ改善していきたいところがある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	当然であるが、毎日の清掃をしている。	子ども達が集中出来るように個別な構造化をする等、配慮している。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	障害特性に応じた個室や半個室を作っている。意思決定を大切にしている。	カームダウンエリアの設置をもっと工夫していきたいと思っている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	2	その都度実施している。	もっと仕組化をしていく必要があると考えている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	必要に応じて話し合いの場を設けている。	今後もより良い工夫を考えながら進めていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	常に話が出来る場は設けている。必要に応じてGoogleアンケート等を使用している。	個別面談や実施回数等をもう少し工夫する必要があると思っている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8		第三者評価は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	法人や事業所内外での研修参加について常にアンテナは張っている。	伝達研修や報告書の内容にももう少し力を入れていきたい。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0		常に専門性の向上を目指していきたいと思っている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	個別学習や集団活動だけではなく、ふとした言動等にも気を配っている。	セルフ発達検査を少しずつ取り入れている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	会議に加え、日々の引継ぎなどでは利用児童個々の話を必ず出し、最善と思う支援を提供出来るように努めている。	今後も常に児童の最善の利益を考えながら進めていく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	朝夕の引継ぎ等、個々の支援について話をする時間をしっかりととっている。	実施後の記録を分かり易く残していく工夫をもっと検討したいと思う。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	簡易のセルフ検査を職員が出来るように勉強しながら少しずつ実施もしている。	現状、どちらかといえばインフォーマルなものが多いかと思う。フォーマルアセスメントの更なる整備は徐々におこなっているところである。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	全体的に実施している。放デイだけではなく、同法人内の成人施設やGH、相談支援等、連携をしながらサービスの提供をしている。	地域支援・地域連携が課題である。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	主担当が立案し、チームで確認している。毎月計画を立て保護者へ発信している。	楽しみながら学んでいけるよう努めていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	事業所内外での活動を工夫している。	同上

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	基本的には一日の中に両方の活動を入れている。状況に応じて提供形態は適宜変更させている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	毎朝、確認と検討をする時間をとっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	毎夕、就業前に実施している。	全員で実施出来る時と出来ない時がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	繋げている。	個々の記録は毎日とっている。細かな検証に繋がるような記録になるよう努めていきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	実施している。	見直しにおける細かな様式をもう少し検討したいと思っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0		工夫をしながら実施しているが、地域活動が弱めである。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	活動や学習の選択、おやつ選択等、一日の中で複数回の選択場面を作っている。	意思表示をするためのツールのバリエーションを増やしていきたいと思っている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	経験や多面的な意見を出せるように、出来るだけ複数人参加できるようには努めている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	4		全てとは出来ていないのが課題である。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1	必要に応じて電話連絡やメールや、または保護者を通して実施している。	まだまだスムーズな情報共有とはいえない現状があるかと思っている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	8		出来ていない。関わりを持てるように検討はしているが、相互理解とまではいけていないと思う。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	4	保護者には、情報提供の旨をお伝えしている。	必要に応じて実施しているが、全てとまではいけていない現状がある。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	8		しっかりと連携等をとれる体制ではないと思う。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	8		現状、機会は持てていない。今後の課題となっている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	6	こども部会への参加をさせてもらっている。	今後もお誘いがあれば積極的に参加したいと思っている。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	対面、電話、LINE等、必要に応じて情報共有等を実施している。	保護者のニーズに応じた対応が出来るようにしていきたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	ペアレントトレーニングと呼ぶかどうか分からないが、定期的な勉強会の開催をしている。	単発で終わることが多いので、継続実施していけるような内容のものも計画していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	書面にて説明をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		設けているが、意思の表出が難しい児童へ対する意向確認をもう少し工夫していく必要があると感じている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	書面での説明をしっかりとしている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	必要に応じて適宜実施している。出来るだけ複数人で相談に乗れるようにしている。	視覚支援の作成等も一緒に実施することがある。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	2	保護者同士で交流できるような企画も少しずつ提供している。	きょうだい同士での交流の場は設けることが出来ていないため、要検討。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	その日の内の早急な対応を心掛けている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	活動概要や行事予定は四半期毎で保護者へ発信している。	定期的な発信は出来ていないが、通信については不定期で発行している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	十分に注意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	対面、電話、LINE等で伝える内容により配慮している。	働いている保護者がほとんどなので、それぞれのニーズに合わせてるようにしている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8		地域住民の招待については、話は出ているものの実行には移せていないことが課題です。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	しっかりと策定をしている。	ある程度想定した訓練はしているが、内容をもっと詳細に、わかりやすくしていく必要がある。
非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	災害時を想定した訓練は年数回実施している。	内容をもっと詳細に、わかりやすくしていく必要がある。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	アセスメントにより状況を確認している。	法人の看護師とも連携をするなど、職員個々の知識向上にも努めている。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	医師の指示に基づき、保護者から事業所へ伝えられた内容を徹底している。	その児童が利用する日には引継ぎ時に再度職員間で確認をしている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	安全管理には十分に配慮している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	周知いただく内容については、文章もしくは通信等でお伝えしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		ヒヤリハット報告書の内容や今後の留意点をもっと分かり易く細分化したいと考えている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	内部研修、外部研修への参加の徹底。またはその都度話をすることで意識づけをしている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	職員への周知、保護者へは同意書の作成と説明を実施している。	